



## 歴史講座 「瀬戸神社と金沢の歴史」 (講座終了後、瀬戸神社境内のヤマアジサイを鑑賞)



平成29年6月10日(土)、文化協会主催の歴史講座を金沢地区センターにて開催。講師は、瀬戸神社宮司で当協会顧問の佐野和史氏。江戸時代の瀬戸神社と金沢について語っていただいた。



講師の佐野和史氏

まず、現在も境内に残る蛇混柏(ジャビャクシン)。この木は称名寺の西湖梅・黒梅・桜梅・普賢象桜・文殊桜・青葉の楓、君ヶ崎の一つ松とともに金沢の八名木と呼ばれた。江戸時代に最大級の台風で倒れたが、境内に残る幹は現在もあまり腐食が進んでいない。また、ビャクシンは太平洋沿岸の黒潮文化圏に存在する寺社に多く植えられていることなど、多くの映像を含めた興味深い内容で、満席の参加者も身を乗り出して拝聴。



奥様の佐野玲子氏



境内に残る「蛇混柏」

続いて、関ヶ原の戦い直前に瀬戸神社を訪れた徳川家康、家康公を祀った東照宮、『新編鎌倉誌』を刊行させた水戸光圀、金沢八景の元となった漢詩を能見堂で詠んだ中国の禅僧心越、瀬戸神社に大絵馬を奉納した江戸神田の材木商のお話。多彩な人物と瀬戸神社のかかわりから、当時の賑わいが伝わってきた。



咲き誇る「乙姫」



神社に残る「家康公像」

講座終了後、瀬戸神社境内に移動。今や金沢の新名所となった境内に咲き誇るヤマアジサイについて宮司の奥様・佐野玲子氏に説明をしていただいた。ヤマアジサイの清楚な美しさとともに、栽培のきっかけとなった3.11震災犠牲者を悼む思いの深さが伝わり参加者は感銘を受けた。(橋本藤子)

## 畠山重保公顕彰墓参会

鎌倉時代、源頼朝の重臣だった畠山六郎重保公は釜利谷の曹洞宗竹畠山禅林寺の境外墓地(白山道トンネル北側)の廟所に祀られています。

重保公の命日である平成29年6月22日(木)、この廟所にて顕彰墓参会を文化協会主催で実施しました。



重保公ゆかりの東光禅寺・禅林寺両住職の読経による法要が営まれ、続いて文化協会役員をはじめ歴史愛好家による墓参が行われました。(川浪舎人)



## 初心者向け「煎茶道」体験講座

平成29年7月2日(日)、金沢地区センターの和室で、文化協会主催の「煎茶道」体験講座が開催され、午前、午後で30名の受講生が参加。講師は、松香庵流の副家元で、当協会理事の坂下静雅先生。芭蕉の葉をお盆に見立てた夏しつらえの煎茶席で、講師のお点前を拝見しながら玉露の水茶を味わい、客としての心得を学んだ。その後、煎茶の水茶点前を体験した。玉露の水茶はすっきりとしておいしく、贅沢なひと時を過ごせて、受講者は大満足でした。(小阪和子)





## 山梨バスツアー



ミレーに会い、ぶどうを味わい、金沢藩主米倉氏のルーツを訪ねる

平成29年9月8日(金)、参加者26名で、文化協会主催の美術鑑賞バスツアーは山梨県に出かけた。心配の空模様は、目的地に着いた頃にはまぶしいほどの青空。周囲の山々の緑も映えて輝いていた。この日は「山梨県立美術館」が所蔵するミレーの11作品すべてを鑑賞できる日で、「皆さま幸運ですね」と喜ばせてくれたのは、解説をお願いした学芸員。『落ち穂拾い、夏』の宗教的な意味合いを感じ取ることの大切さや、『種まく人』の躍動感がどこから生まれてくるのかなどの解説で、名画がより味わい深いものになった。昼食は、ボリュームたっぷりの甲州名物「ほうとう」。続いて訪れた「早川園」で味わったシャインマスカットやピオーネなど数種類のぶどう、自分で刈り取ったデラウェアは食後のデザートにぴったり。さらに横浜で唯一の大名であり、金沢に陣屋を構えた米倉氏のルーツである「米倉」の地を訪ね、金沢の歴史の一端を学んだ。車中では、当協会の深津事務局長の語りで、山梨県の日本一や県名の由来などを知ることができた。この日は「芸術、食欲、学びの秋」にふさわしい一日となった。



(橋本藤子)



## 恒例の「塩田による塩づくり教室」

「塩田による塩づくり教室」が、平成29年7月15日(土)と7月23日(日)の2日にわたり実施された。この教室は、文化協会の会員を中心に結成されている「塩田による塩づくり実行委員会」が、金沢区役所地域振興課から区の文化伝承事業として委託されているもの。全国的に見ても珍しい内容で、今年度で第16回目を数える。しかし、ここ数年は両日を通して、年々参加者が減少しているのが残念。

### ◆ 塩の道を歩く(7月15日)

第1日目は「塩づくりについて学ぶ」がテーマ。小学生12名と保護者12名が金沢公会堂の多目的室に集合。9時から資料映像やテキストを用いた実行委員会スタッフの説明で「金沢での塩づくりの歴史」や「塩



田による塩づくり作業の手順」などを学習。その後、スタッフの案内で、鎌倉時代に形作られた「塩の道を歩く」に出発。相模と武蔵の国境にある「鼻欠地蔵」を経て「朝夷奈切通」にかかり、横浜金澤シティガイド協会スタッフの説明を聞きながら峠を越え、鎌倉・十二所の「光触寺」境内の「塩管地蔵」まで歩き、往時の塩運びの様子に思いを巡らせた。



### ◆ 塩づくり体験(7月23日)

第2日目は、「塩田による塩づくり」を実際に体験。快晴とはいかなかったが、海の公園バーベキュー場側の砂浜に小学生12名、保護者12名、スタッフ16名が集合。砂浜に塩田を3面設置。海水汲み、海水撒布、畝づくりを2回繰り返す。鹹砂(かんさ)濾過、鹹水採取、煮詰め、ニガリ抜き等の一連の作業をスタッフのリードで体験。煮詰めの作業中に昼食をとり、スイカ割りを行った。その間に塩が出来上がり、自作の塩をかけてスイカを食べる子もいた。怪我や熱中症もなく、予定通りによい塩を採取。参加した皆で分け合い、2時過ぎに無事解散した。

(深津米男)



## 公募写真展

金沢の文化向上・活性化を願って

平成29年5月9日(火)～14日(日)、横浜市民ギャラリーにて横浜金沢写真連盟と横浜金沢観光協会主催、当文化協会共催の公募による写真展を開催。入選作品の展示を行った。金沢区の文化向上と地域活性化を目的とした写真展である。1月に募集要項配布、3月に応募受付、4月に入選審査、5月に展示・入賞審査・ギャラリートーク・表彰式・講演会、9月にシーサイドライン新杉田駅で展示を行った。応募410点、入選146点、小学生から86歳まで頑張った。(佐野雅子)



観客で賑わう展示会場



文化協会賞受賞作品  
「春の華」

## 金沢区書道協会展

平成29年6月14日(水)～20日(火)、第31回金沢区書道協会展を磯子区民文化センター杉田劇場ギャラリーにおいて文化協会との共催で実施。530人にご来場いただきました。文字は創作不可。字体は楷書、行書、草書と変化。その中で文字と書体を選び、作品に使う。作品を仕上げる要素は用紙の大小、文字数、文字の大小、文字内容のバランス。安心できる作品、心情を表現した作品などとなる。今回の展示では、女手の源氏物語、百人一首の流麗仮名、御経軸が日本のゆかしさを感じさせてくれた。展示作品の中から「あなたの一押し」を探せたでしょうか。(高橋清溪)



## ポストに投稿された『横浜金沢を詠う』俳句・短歌を表彰・展示

第17回表彰式を平成29年4月27日(木)、区民活動センターで挙。平成28年9月1日から平成29年2月28日の間に、区内に設置されたポストに投函および俳句大会で投稿された俳句95句、短歌31首から、俳句10句、短歌5首が選定され、金沢区長・横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長・横浜金沢文化協会理事長・横浜金沢観光協会長・横浜金沢シティガイド協会会長から表彰を受けた。表彰作品と表彰式出席者の写真は文化協会のホームページとタウン紙に掲載された。また、平成29年5月8日(月)～13日(土)の間、区民活動センターの展示ギャラリーで、7月3日(月)～14日(金)の間、金沢文庫郵便局の君ヶ崎ギャラリーで表彰作品が展示された。

当協会は、平成20年の金沢区制60周年を記念し、恒久的に続く文化事業として、「横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会」を立ち上げ、この表彰事業を開始した。今年で9年目。年2回の表彰式で、17回目を迎えた。ポスト設置場所などについては当協会のホームページ(<https://www.yk-bunka.com/>)を参照ください。(野中建吾)

### 春季の「金沢区民俳句大会」を開催

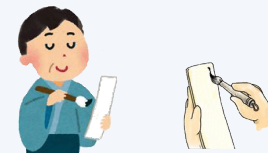
金沢俳句会では、文化協会との共催で、平成29年6月4日(日)、金沢地区センターの大会議室で、金沢区内の俳句愛好者37人を集めて、「第19回金沢区民俳句大会」を開催。各自の当季雑詠2句(1句はご当地俳句)を持寄り、投句。その後の句会で互選を行い、上位10句を選定・表彰を行った。最後に、金沢俳句会会長のシリーズ俳話「俳句の世界(その21)」で締めくくった。なお、互選上位10句は文化協会のホームページに掲載。秋季には「吟行大会」を開催しますが、詳細は、開催に先立ち発行します「案内チラシ」をご覧ください。

(野中建吾)

### 前期の「金沢区民短歌大会」を開催

金沢区民歌人会では、文化協会との共催で、毎年2回の「金沢区民短歌大会」を実施。平成29年5月13日(土)、八景コミュニティハウスに18人の短歌愛好者を集めて、「平成29年度前期 金沢区民短歌大会」を開催。各自で歌を詠み、その後、互選を行い、上位5首の表彰を行った。表彰された5首は文化協会のホームページに掲載。

(野中建吾)



## 金沢区民囲碁大会 ～区対抗戦代表を選抜、代表は対抗戦で大活躍

平成29年春の各区囲碁連盟対抗戦の区予選として平成29年5月14日(日)に春の大会を金沢地区センターで開催。約60名で戦った結果、代表6名が選ばれ、各区対抗戦に出場。ハンディ戦による変則トーナメント4回戦で、中島さんが4戦全勝。平成29年秋の区予選大会は10月15日(日)。参加費1,500円。昼食付きで楽しく一日を過ごせます。囲碁好きな方はご参加を。(高橋徳美)



## 生涯現役かなざわ会 設立25周年記念イベント

平成29年4月2日(日)、磯子公会堂において、生涯現役かなざわ会設立25周年記念イベントを開催。一般公開とし、文化協会・区役所など多方面の支援を得ての実施となり、定員600席の会場が満席で大盛況。メイン行事である落語家・三遊亭円楽師匠の「笑顔の日本語～ユーモアコミュニケーション」と題する講演は、爆笑と知的な話題で魅了された。アトラクションのハーバライトオーケストラの演奏もオールディズな曲目をカバーして喝采を浴びた。

(門口泰宣)



## 第3回 金沢民謡協会「おさらい会」

平成29年5月21日(日)、金沢民謡協会の「おさらい会」を文化協会との共催で実施。金沢公会堂の建て替えで、会場はヴェルクよこすか。オープニングは花笠音頭。北海道から九州まで、94の民謡を発表。津軽三味線の合奏や舞踊披露も。フィナーレはダンチョネ節で、会場の皆さんと合唱。日ごろの稽古の成果を十分に発揮。参加は11支部、約90名。はまかぜ新聞に掲載されたこともあり、多くの民謡ファンが応援に来てくれた。

(阿部きみえ)



## 並木第一小学校で茶道出前教室

平成29年6月20日(火)、文化協会茶道部門の門間宗映会員とその社中が並木第一小学校に出向き、6年生を対象に茶道体験教室を開催。生徒さんに対して、最初に痺れない座り方や痺れの直し方を教授。次に、奈良・平安・足利時代と400年にわたる茶道の歴史の話。そして、お茶の作法で、お菓子の戴き方、抹茶の飲み方、お茶の点て方を教授、実際に体験。15年前にこの小学校内に並木北コミュニティハウスが開設され、和室とお茶道具が揃えられました。それを機会に毎年出前教室を持たせていただいています。

(門間宗映)



## 『かなすい』第46回定期演奏会

平成29年7月16日(日)、逗子なぎさホールにて金沢吹奏楽団『かなすい』の定期演奏会を文化協会との共催で開催。指揮は波田野直彦。演奏曲は音楽祭のプレリュード、シェナンドーア、だったん人の踊り、ファッションショー、「君の名は。」メドレー、靴が鳴る、スペインなど。強い日差しと夏祭りの真っ最中！お運びいただけるか心配でしたが、多くのお客様に来場いただきました。次は11月26日(日)の磯子公会堂での国際交流クリスマス・チャリティー・コンサート。お楽しみに。

(寺田早苗)



## 第9回金沢区美術協会展

平成29年6月20日(火)から25日(日)まで、金沢区役所2階の金沢公会堂多目的室で金沢区美術協会展を開催。出品者数は65名。サイズが6から20号までの65点の作品を展示。来場者は807名で、区役所窓口に来た人の来場もあり、前回より200名ほど多かった。会場では、出品者と来場者との間で、作品の感想や作成の思いなどが花を咲かせていた。また、1階エレベーターホール前の展示スペースでは秋に予定の当会創立10周年記念デッサン講習会で講師をお願いしている日展理事・湯山俊久先生の2作品を展示した。

(吉野孝行)



## 実物大ヒマワリ360度展

平成29年6月28日(水)～7月3日(月)、金沢区庁舎展示スペースでヒマワリ画を展示。展示作品は1本のヒマワリを正面・左斜め面・左側面・背面・右斜め面と360度廻って実物大に描いた5枚1組の絵。ヒマワリといえば太陽に向かう正面の花。実物を前にぐるっと廻ると正面を支える側面・背面が見えます。正面とは異なった地味であるが繊細な造形美に満ちた姿です。それを丹念に描くことで、ヒマワリの花の全体を正確に捉えることができます。人というのはものを一面的に見がちです。時には、「実物大ヒマワリ360度」を思い出していただければ幸いです。

(川浪舎人)



### 第3回 コーロ・ネオマリカ コンサート

平成29年3月2日(木)、午後から雨も降り、とても寒い日でした。お客様の足元が気になりながら、午後2時に『第3回 コーロ・ネオマリカ コンサート』が港南区民文化センター「ひまわりの郷」で開演しました。おかげさまで292名のお客様にご来場いただき、皆様の暖かい励ましと心地良い緊張の中、数年かけて練習した曲が、アツという間に歌い終わりました。また次の目標に向かって努力を重ねて参ります。



今後ともご支援をお願い申し上げます。  
(宮崎裕子)

### ひまわり会 35周年記念コンサート

平成29年6月16日(金)の午後2時から磯子区民文化センター杉田劇場において「ひまわり会 35周年記念コンサート」が開演。梅雨入り宣言もあり、当日の空模様を心配しながらこの時を迎えましたが、お天気に恵まれ、安心しました。おかげさまでたくさんのお客様にご来場いただき、緊張致しましたが、楽しく歌い終わりました。これからも、森川先生のご指導のもと、田中先生のピアノ伴奏に支えられ、練習を重ねて参りたいと思っております。今後ともご支援下さいませようお願い申し上げます。



練習を重ねて参りたいと思っております。今後ともご支援下さいませようお願い申し上げます。  
(佐藤英子)

### 春の大茶会

平成29年3月12日(日)、金沢茶道会は横浜ポートヒルライオンズクラブと共催で恒例の三溪園鶴翔閣における「春の大茶会」を開催。



立礼棚でのお点前

3年振りに良いお天気に恵まれ、約230名の来客があり大盛会でした。今回は、4つの席を設けました。第1席は表千家・薄井宗江先生の立礼棚でのお点前、第2席は裏千家、表千家、江戸千家合同の体験コーナー、第3席は裏千家・藤崎宗芳先生、第4席は裏千家・小西宗和先生の釣り釜でした。なお来年は5月27日の開催です。(門間宗映)



釣り釜

### あじさい祭り茶会

金沢茶道会では、平成29年6月17日(土)・18日(日)の2日間、あじさい祭りの恒例行事の一つとして「あじさい祭り茶会」を八景島客船ターミナルで開催。今回で17回目。お客様にはあじさいを窓の外に見ながら、客船ターミナルのなかでお抹茶を飲んでいただいた。お菓子は鳳月堂のあじさい饅頭。第1日目はお天気が良かったが、2日目は午後から雨がひどくなりました。その割には3時までお客様の絶え間が無く、結果的には、2日間で総勢134名のお客様をお迎えしました。



(田宮初重)

### 煎茶道慈善茶会

平成29年4月16日(日)、枝垂桜が見事に満開の三溪園鶴翔閣において金沢煎茶道会協力・ライオンズクラブ主催の慈善茶会が開催された。茶席は立礼式で、掛け軸は江馬細香画の春蘭、お花は海棠・都忘れ・菜の花を。枝垂桜文のお茶碗には宇治の玉露を淹れ、お菓子は松江の銘菓「岩根つつじ」を取り寄せました。茶席は和やかでお客様に楽しんでいただきました。なお後日、この煎茶席の様子はBSジャパンでテレビ放映されました。



(坂下静雅)

### 旧川合玉堂別邸煎茶“野点”

平成29年5月6日(土)、NPO法人旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会主催の「野点席」が金沢煎茶道会の協力で開催された。新緑の季節ながら、真夏を思わせる暑さのなか、約300名の来客で賑わいました。表門・土橋が修復された玉堂別邸の眺めの良い高台に煎茶席を設け、お客様にはお点前を拝見しながら新茶とお菓子でひと時を楽しんでいただきました。日差しの強い中での茶席でしたが、お帰りになる方々からの「ご馳走様」の一言と笑顔が嬉しく心に残りました。



(坂下静雅)

### 金沢区日本舞踊連盟公演

平成29年4月4日(水)、第21回目の「金沢区日本舞踊連盟公演」が磯子区民文化センター杉田劇場で行われた。磯子区での開催であったが、幸いにも沢山のお客様にお越し頂き、盛大に実施出来た。演目も常磐津、清元、長唄、萩江、大和楽と多彩で、お客様に十分に楽しんで頂けた。劇場スタッフからは「本格的な日本舞踊公演は初めて」という言葉を頂き『伝統芸能である日本舞踊を皆様に親しみ楽しんで頂けるようにますます励みたい』と思いを新たにしました。(花柳徳蓮)



### 居合道奉納演武会

平成29年5月20日(土)、瀬戸神社で居合道奉納演武会が実施された。多くの方に見ていただこうと発足した演武会は今年で15周年。「心身を練磨し礼を重んじる居合道の精神を青少年にも伝えていきたい」と主催の実行委員会代表、夢想神傳流第廿世正傳 高田學道先生は語る。小学生剣士から長老、フィンランドやブルガリアの剣士たち、10流派77名の見事な演武に、会場は凜とした緊張感が張りつめた。来場者から「気合いと迫りに武士道のパワーをもらった」など感激の声が上がった。(岩森耕太郎)



### 野口英世の生涯と横浜

平成29年7月3日(月)~8日(土)、野口英世細菌検査室保存会は金沢区民活動センターの区民ギャラリーにおいて、パネル展を開催。パネル70点で、野口英世博士の生涯、渡米15年後の凱旋帰国時に博士が見た横浜、若き博士が勤務した長浜検疫所の歴史と建築遺産として残る細菌検査室や一号停留所(検疫資料館)などを説明。200名超の見学者に感銘を与えた。(高橋好一)



### 夏休み子ども体験教室

野口英世細菌検査室保存会の「夏休み子ども体験教室~手作り顕微鏡と本物の顕微鏡でミクロの世界を体験しよう!」が平成29年8月5日(土)、横浜市長浜ホールで40名の小学生(午前、午後各20名)が参加して行われた。ペットボトルの蓋とガラスのビーズで作った顕微鏡で花粉や塩の結晶などを観た。また、本物の顕微鏡でゾウリムシなどを観察。ひとときミクロの世界を楽しんだ。(中村澄夫)



作った顕微鏡で観察



本物の顕微鏡と見比べ

### 横浜検疫所施設公開

平成29年8月19日(土)の横浜(長浜)検疫所の年1回の公開に合わせ、同所敷地内の検疫資料館(旧1号停留所)と同所に隣接の長浜ホール・細菌検査室の3施設の案内を野口英世細菌検査室保存会が行った。明治の検疫遺産である3施設の歴史や施設内の展示物についてお子さん連れ、老若のカップル、会社の社員研修のグループなどへ説明した。(田中常義)



検疫資料館



長浜ホール



細菌検査室

### 金沢ふれあい文化祭

4月16日(日)金沢産業振興センターで開催された「第49回金沢ふれあい文化祭・春季大会」。金沢区を中心に活躍する民謡・舞踊・太鼓・フラダンス・カラオケなどの先生と生徒さん67組が出演し、華やかなステージが繰り広げられた。50回目となる秋季大会は10月15日(日)同センターにて開催が決定。ぜひお出掛けを!(阿部きみえ)



### 君ヶ崎ギャラリー

君ヶ崎交差点に近い金沢文庫郵便局の入口に「君ヶ崎ギャラリー」と呼ばれる掲示板があり、区民の作品が交替で展示されている。このギャラリーに文化協会の利用期間枠があり、順次に会員の作品を展示中。平成29年5月8日~19日 三浦正雄会員「絵画展」  
6月5日~16日 川浪舎人会員「色鉛筆植物画展」  
7月3日~14日 俳句・短歌ポスト投稿表彰作品展

### 区民活動センター展示ケース

区民活動センターの受付カウンターと区民ギャラリーの間に約70センチ幅の展示ケースがあり、区民の作品が交替で展示中。この展示ケースに文化協会の利用期間枠が設けられており、順次に会員の作品を展示している。平成29年3月からの展示実績は右の1件である。(橋本藤子)



小野 剛会員 絵画展示「花つむ乙女」

個人会員紹介

(民謡)

もろほし たかし  
諸星 孝



民謡は、豊年豊作豊漁を主として願い祈る心から始まり、それが仕事のリズムや休憩時の唄になり、収穫を喜ぶ祝い唄にもなって、人々に唄われ親しまれてきました。奄美や沖縄の古謡では人々の絆が最重要であり、民謡は心の叫びの唄とさえ思えます。この日本の唄「民謡」を大切に唄い伝えていきたいと思っています。元、県の教育委員会民謡実技講師。現在、日本郷土民謡協会公認教授、金沢民謡協会副会長、金沢区「街の先生」です。



(民謡)

こんない ひろつぐ  
近内 広次



金沢区に住み早60数年が過ぎ、変り行く町は昔の面影が徐々に少なくなり寂しい気持ちもしますが、それも時代の流れで仕方ないと思います。子供の頃泥亀町でザリガニやメダカを採ったり、平潟湾で花火大会を見たり泳いだり、思い出が沢山残っています。そんな金沢区がとても好きです。3年前に民謡協会が発足し、新しい仲間が増えとても嬉しく思っています。一人でも多くの方に民謡の良さを知っていただき、参加していただければ幸いです。



(合唱)

みやざわ かずこ  
宮沢 和子



昭和50年から自然環境に恵まれた金沢区東朝比奈町で暮らしています。3人の子供を育て、その時代に知り合った友人のお誘いで、「野の花コーラス」に入り、仲間と楽しく歌って、時々会食をしたり、旅行に出かけたり、ごく平凡な主婦をしています。友人の紹介で文化協会のいろいろな催しに参加させていただき、勉強になり、これからも見聞を広めていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



賛助会員紹介

白山東光禅寺

東光禅寺の創建は建仁年間と伝えられ、当時は鎌倉薬師ヶ谷(現大塔宮)にあったとされる。開基は鎌倉幕府開幕の功臣・畠山重忠公で、弘安5年、臨済宗大本山建長寺第六世・臨済宗大本山円覚寺第五世勅諭大興禅師を招き、開山とした。当時は大塔宮護良親王が幽閉された土牢のすぐ前に位置していたとされ、親王は東光寺書院で写経中に足利直義に害されたと伝えられる。応仁年間に釜利谷郷へと移り、白山東光禅寺と改める。



金沢白百合幼稚園

「金沢白百合幼稚園」(釜利谷南二)は、42年の実績をもつ学校法人立の幼稚園。平成15年2月には学校法人理事長が社会福祉法人黎明会を設立。同年4月に姉妹園として「金沢ふたば保育園」(富岡東二)を開園。保育園では幼稚園の実績を生かし、また、幼稚園でも保育園の教育実績を生かし、互いに卒に捉われない新時代の教育・保育を目指して運営。平成27年度から施行の「子ども・子育て支援新制度」に基づく教育・保育施設への対応にも取り組んでいる。



横浜金沢文化協会では

・会員を募集しています。

横浜金沢文化協会には

・歴史・文学・短歌・俳句・絵画・写真・民謡・合唱・囲碁・茶道・華道・書道などの活動行っている仲間がたくさんいます。是非ご参加を!!!

横浜金沢文化協会の問合せ・申込み先は

・NPO 法人横浜金沢文化協会 事務局 深津米男  
〒236-0037 金沢区六浦東 3-3-21  
TEL/FAX : 045-782-0705, E-mail : ykbunnka@gmail.com

## 文化協会行事予定(平成29年10月~平成30年5月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくと文化協会のホームページに詳細案内が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

行事名	実施日時	実施場所	問い合わせ先電話番号
朗読「たちばな」発表会&義太夫	H29.10.1	金沢公会堂多目的室	045-785-4757
金沢区民文化祭 民謡のつどい	H29.10.1	ヴェルクよこすか6階ホール	045-783-3506
金沢区民文化祭 金沢区音楽のつどい	H29.10.15	磯子公会堂	045-771-8783
金沢区民囲碁大会(秋季)	H29.10.15	金沢地区センター大会議室	045-780-3199
秋のお茶会	H29.10.15	旧伊藤博文別邸	045-782-8079
金沢ふれあい文化祭	H29.10.15	金沢産業振興センター	045-783-7869
初心者向け俳句教室(全6回)	H29.10.18~	並木コミュニティハウス	045-781-5044
金沢区民文化祭 吟と舞の祭典	H29.10.28	金沢産業振興センター	045-783-2284
金沢区民文化祭 金沢三曲演奏会	H29.10.29	磯子公会堂	045-781-1483
金沢区民俳句(吟行)大会	H29.10.29	金沢自然公園、ののほな館	045-781-5044
富岡コール	H29.11.4	横浜みなとみらい小ホール	045-771-8783
講演会「知られる金沢動物園の魅力とは」	H29.11.5	金沢地区センター大会議室	045-788-4082
金沢区民文化祭 区民の作品展	H29.11.6~11	区民ギャラリー、公会堂多目的室	045-788-7805
金沢区民文化祭 華道展	H29.11.10~11	金沢地区センター大会議室	045-772-2131
金沢区民文化祭 茶会	H29.11.11	金沢地区センター和室・ロビー	045-782-8079
金沢区美術協会 10周年記念講演会	H29.11.16	金沢公会堂多目的室	045-771-7543
金沢区美術展	H29.11.23~28	能見台地区センター体育室	045-771-7543
かなすい クリスマス・チャリティー・コンサート	H29.11.26	磯子公会堂	090-7189-5298
金沢区民短歌(後期)大会	H29.11	八景コミュニティハウス	045-782-8778
初心者向け 箏・三絃体験講座	H29.12.2	金沢公会堂多目的室	045-788-4082
金沢区民文化祭 金沢区小・中学校音楽祭	H29.12.10	横浜市立大学八景キャンパスホール	045-771-6167
金沢三曲会研究会	H30.2.11	金沢公会堂多目的室	045-781-1483
南国忌	H30.2.18	長昌寺	080-1040-1773
海苔づくり教室	H30.2.25	野島公園	045-788-7804
緑の大茶会	H30.5.27	三溪園鶴翔閣	045-782-8079

## 顧問一覧(50音順 敬称略)

小幡 正雄 片岡 順一 木村 久義 国吉 一夫  
黒川 澄夫 黒川 勝 佐野 和史 篠原 豪  
鈴木 節夫 高井 祿郎 高橋 徳美 竹野内 猛  
松崎 淳 松野 宗純 松本 純 谷田部 孝一

## 新会員一覧(50音順 敬称略)

(総合): 大泊 葉子、角田 紀美子、平山 次晴、渡辺 芙美江  
(歴史): 丸茂 信楽 (器楽): 深津 早百合 (合唱): 相川 加代子、  
安部 美保子、荒川 陽子、石川 萬里子、海老沼 留美子、佐野 友美、  
柴沼 万寿美、鈴木 朝子、出口 みさ子、保利 恵子、宮沢 和子、  
宮屋敷 和子 (民謡): 近内 広次 (華道): 河野 一三子

## 訃報

## 榎本 あけみ理事ご逝去

当協会理事・事務局次長兼会計部長、合唱サークル「野の花コーラス」代表として協会運営ならびに地域文化の発展に尽力された、榎本あけみ様が平成29年7月8日にご逝去されました。享年69歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 会報編集委員

編集長	金間 誠一
編集委員	阿部 きみえ 阿部 孝三 内園 一廣 遠藤 勝美 川浪 舎人 佐野 静子 塚本 眞砂子 野中 建吾 宮崎 裕子

## 賛助会員一覧(50音順)

## (法人)

- ・赤ひげ小川笙船法要会
- ・一般社団法人 金沢区三師会
- ・医療法人社団景翠会 金沢病院グループ
- ・医療法人社団湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科
- ・植周造園株式会社 ・御菓子司 横浜紅谷
- ・金沢区旅館組合 ・金沢百合幼稚園
- ・株式会社 光洋 ・幸栄印刷株式会社
- ・白山東光禅寺

## (個人)

- ・芦部 久美子 ・川田 俊博 ・桑原 龍治

## 編集後記

「牀前月光を見る 疑ふらくはこれ地上の霜かと  
頭を挙げて山月を望み 頭をたれて故郷を思ふ」

李白、「静夜思」

本号会報がお手元に届く頃、煌々たる月が霜降る地と見紛う世界を表出しているかもしれません。

心地よい季節。相互に刺激を受け、高みに向けた創造的な活動をする。そのような魅力ある協会であり続けたいですね。(阿部孝三)